

スクラム

発行：東京清掃労働組合墨田支部 企画・総務部
東向島5-9-11 すみだ清掃事務所分室内 E-mail：seisousumida@juno.ocn.ne.jp

皆の力を合わせれば道は必ず開ける

墨田支部第14回定期大会



↑全組合員の総力で困難に立ち向かおう



森内副委

9月30日、16時30分より、第14回定期大会を分室休憩室にて開催しました。各班から選出された代議員の積極的な討論により、今後一年間の闘う運動方針を満場一致で確認することができました。確固たる直営体制の確立と新規採用の獲得、安心して働き続けられる職場と賃金・労働条件を勝ち取るため、あらためて全組合員の総力を結集して闘いましょう。引き続き、支部への結集をお願いします。

大会は、すっかり名貴義代議員が選出され、司会者の地位を確立した岡崎副委員長の司会で開会しました。大会議長に嘉藤輝樹代表として遠田委員長が「区民と共に良質な公共サービスとしての清掃事業を確立しなければ我々の将来はない」、資格審査委員長に島村

「国会情勢は混とんとして、我々の代弁者たる勢力を国会に送り込まなければならぬ」と、島村資格審査委員長から定数17名の代議員

「賃金のみならず行政系と比べ極めて低位にあり、現業系人事制度、そして人事評価制度の改善を追求」などを中心とした、文字通り闘う方針となっています。要求実現にむけて交渉よりも重要なのは日常の取り組みです。数字はもちろん、数字に現れない部分も含め、当局はつぶさに注視しています。逆に考えれば、我々の力を日常的に当局に見せることができるのです。皆の力を合わせれば必ず道は開けるはずで、全組合員の総力で運動を進めましょう。

交渉と日常作業を両輪の力として

全員の参加によって大会の成立が宣言され、全体で確認されました。一般経過報告を斉藤書記長から行い、会計監査報告については両幹事が欠席のため報告書を参照して確認しました。続いて各会計報告を森内副委員長から行いました。斉藤書記長が提案した2018年度運動方針（案）は、「次年度計画交渉では不燃・粗大収集再直営化を中心とした要求を実現」、「同時に中長期的な直営職務と体制を確立し、継続的な新規採用を求め安定した職場を確保」

員長からは各会計予算（案）が提案されました。組合事務室使用量や通信料が本部負担となったことから財政状況は緩やかに回復しているものの、組合員数の減少を踏まえれば予断を許さない状況であり、引き続き緊縮予算となっています。いずれの議案も満場一致で確立がされ、厳しい情勢の確認と闘う意思統一をすることができました。最後に遠田委員長の力強い団結頑張ろうで大会は成功裏に終了することができました。

交流を通して団結強化



10月8日（日）、清水公園にて開催された第五地連BBQ大会に参加してきました。家族も含めて14名（全体45名）和気あいあいと食事をし、支部内外の交流を深めるとともに、次の闘いに向けた英気を養うことができました。



↓ はやくも結成10周年、さらに前進をしよう



自治労都本部東部地域協議会第10回定期総会

遠田委員長が引き続き副議長に
9月25日（月）、浅草雷一ビルにおいて、都本部東部地域協議会第10回定期総会が開催されました。東部地協は荒川・台東・足立・葛飾・江戸川・江東・墨田に所在する自治労傘下の労組が結集している組織です。
わが支部からは遠田委員長を幹事に選出し、清掃支部間の互選により引き続き地協の副議長を担うこととなりました。皆様のご協力をよろしくお願います。



↑ 秋にむけてあらためて団結を



↑ 三名が代議員として討論に参加

なお、規約改正により、次回大会から3月の開催となります。よって、現在の中央執行委員の任期は次回大会まで継続します。

東京清掃労働組第87回定期大会

9月24日（日）、連合会館において、本部第87回定期大会が開催されました。支部からは代議員として遠田委員長、佐々木副委員長、斉藤執行委員長が討論に参加、大会役職員も務めました。中央委員代理の岡崎副委員長、長妻中央執行委員も出席しています。
運動方針をはじめとした全ての議案は満場一致で確立しました。秋の賃金確定闘争をはじめ、本部の交渉を後押しするため、大衆行動を強化していきましょう。